

リトル・ジョンの物乞い

1 陽気な歌をうたうのを

ヘイ ダン ダン ナ ダン ダン

こよなく愛する皆さま方

ここに集まり お聞きください

リトル・ジョンの物乞いの物語を

2 ロビン・フッドとヨーマンたちが

森の中を歩いていたとき

ロビン・フッドはリトル・ジョンに

物乞いに行くよう命じました

3 「物乞いに行けというのなら」とリトル・ジョン

「巡礼の僧の服を着て

杖とコートと袋を持ち

すぐに出発するとしよう

4 「さあ パンを入れる袋をくだされ

チーズを入れる袋もくだされ

金を入れる袋もだ

施しの品を無くさぬように」

5 こうして リトル・ジョンは

物乞いに行きました

通りで出会った乞食の中で

ジョンが一番の強者でした

6 ジョンが一人で歩いていると

轟や盲や跛の

四人の乞食に出会いました

「これは 皆さん

7 「ジ」機嫌いかが 同胞たち

お会いできて光榮だ

ところで どこに向かっている

仲間を探しているのだが

8 「ここではどんな稼ぎがある
なぜ鐘が鳴り響く
犬の首吊りとは如何なるものか
さあ共に行き 様子を探ろう」

9

「犬の首吊りではない」と乞食の一人

「おまえに教えてやろう

人が死んで 我らはチーズとパンにありつけ
る おまけに 施しもいただけるのだ」

「ロンドンに仲間がいる」と別の乞食

「コベントリーにも

ベリックにもドーヴィーにも 世界中に

だが おまえのような腰曲がりの阿呆は初めて

「とつとと失せろ 腰曲がりの阿呆

脳天に一発食らわせるぞ」

「そうはさせるか」とリトル・ジョン

「腕を試すまでは立ち去らぬ

「腕がむずむずするというのなら
おまえたち皆とひと勝負

四人束になつてかかつてこい
誰が相手であろうと容赦せぬ」

ジョンにつねられた唾_{おし}は大声を出し
目の見えない盲_{めじい}と

七年前から足の悪かつた跛_{ひづ}は

ジョンより速く走つて逃げました
ジョンは口笛を吹きました

ジョンは結局四人をつかまえて打ちのめし

ガンガン壁に押し付けると

金貨がジヤラジヤラ鳴り響きます

ジョンは口笛を吹きました

ジョンは乞食の衣装を脱ぎ

三百ポンドの金貨を手にして

「これは大金」と喜びました

「こんな楽しい光景を目にしようとは

しかも 別の乞食の袋の中身は

さらに三百と三ポンド

「一生かかっても使い切れまい

おまけに途中で死ぬかも知れぬ

「そろそろ物乞いを終えようか
もうこれで十分だ

「ここをすぐに退散して

シャーウッドの陽気な森に帰ろう」

「そろそろ物乞いを終えようか
もうこれで十分だ

「ここをすぐに退散して

シャーウッドの陽気な森に帰ろう」

「そろそろ物乞いを終えようか
もうこれで十分だ

「ここをすぐに退散して

シャーウッドの陽気な森に帰ろう」

こうしてシャーウッドの森に帰り着くと

善良なお頭かしらロビン・フッドと

その仲間たちが

ジョンを出迎えにやつて来ました

「首尾のほどは」とロビン・フッド

「話してくれ リトル・ジョン
どのように物乞いをしたのか
何としてでも知りたいものだ」

「まったくいいことだらけで」とリトル・ジョン

「うまく物乞いしてのけた

六百と三ポンドがその土産

銀貨と金貨が さあこの通り」

ロビンはジョンの手を取ると

オーラの木のまわりを踊りました

「一生かかっても使い切れまい

おまけに途中で死ぬかも知れぬ」

歌好きな皆さまにお聞かせする

楽しい歌はこれでおしまい

弓の名人口abin・フッドと

リトル・ジョンの物乞いのお話でした

22

21

20

19

17